



中津宮・七夕祭齋行

八月七日、七夕伝説発祥の地・大島中津宮に於いて、八〇〇年以上の伝統を有する祭事・七夕祭が斎行された。これに併せ本年も「元氣な島づくり事業推進協議会」とのタイアップにより「むななた大島七夕祭り」を催行し、天の星空の下一年に一度の「逢瀬」の一刻を演出、ロマン溢れる神事となった。

七夕祭当日は、早朝より沖・中両宮奉賛会、敬神婦人部、元氣な島づくり事業推進協議会他(島内各団体)の御奉仕により七夕装飾が行なわれ、中津宮境内周囲・ターミナルから神社下の緑地公園までの道路沿いには、七夕飾り一色で彩られた。

夕刻、七夕祭りのイベント会場の緑地公園には浴衣姿の島民や、島外からの参拝者が続々と参集、午後六時より特設



お供えされた神饌



人を守る。



夢をつなぐ。



街を見つめる。



暮らしを応援する。



安心をカタチに、生きがいをデザインする麻生グループ

<http://www.aso-group.jp/>



七夕祭り

ステージにて九州管楽合奏団のトランペットやパーカッションの演奏、又大島小・中学生による歌なども披露された。
境内では神賑わいとして、沖・中両宮翼賛会奉仕によるヨーヨー釣りや金魚すくい等の出店も催され、参拝者を楽しませた。
陽が沈み始めると島の子供達が

境内に据えられた竹灯にロウソクやペンライトにて点灯、幻想的な空気に包まれる中、天ノ川を挟んで鎮座する「牽牛神社」と「織女神社」を空中に通されたチューブの中を赤い発光液が流れ、両宮が赤い糸で結ばれると参拝者から歓声が上がった。
午後八時、「牽牛神社」「織女神社」の御前で、厳肅に七夕祭を斎行、斎主が年に一度仕え奉る逢瀬を言祝ぐ祝詞を奏上、次に参列者はそれぞれ祈りを込めて玉串を捧げた。



合づけされた「竹灯」



翼賛会による出店



これに乗船し帰路についた。
この中津宮七夕祭は鎌倉時代まで遡ることができ、以来大島島民によって絶える事無く伝承されてきた神事であり、今でも八月一日から七日までを七夕週間として、各家庭においても七夕飾りをして、次の世代へと受け継がれている。今年の七夕祭も島内を挙げて、盛大に斎行された。

祭典後に奉納される伝統の七夕踊りも多くの参加者で賑い、二ノ鳥居を二重の輪で囲んで行なわれ島民、来島者、子供、大人も皆で神人和楽の七夕の一夜を過ごした。
午後九時三〇分、大島港より臨時渡船が出され、島外の参拝者はそれ



取扱商品

達磨/招き猫/干支張り子/縁起物
ナチュラルプランター
100%再生紙使用マネキン

アクティ大門屋株式会社

〒370-0873 群馬県高崎市下豊岡町3
TEL 027-323-5222(代表)
FAX 027-323-1286

HP <http://www2.gol.com/users/admy01/>

閉幕まで残り僅か!

特別公開 歌人たちの競演

宗像大社所蔵五組の三十六歌仙図扁額

宗像大社神宝館では、七月十五日〜九月六日まで、桃山から江戸時代にかけて当大社に奉納された五組の三十六歌仙図扁額を特別公開している。

扁額とは絵が描かれた板額のことで、当大社の扁額は、一枚の板に三十六歌仙の一人の肖像画と和歌を描き、三十六枚で一組をなす。扁額製作には当時の名高い絵師と書家が携わった。荘厳豪華な扁額を用意した奉納者の崇敬は並々ならぬものであったと思われる。

平安時代に藤原公任が選んだ三十六歌仙は、その後、歌仙崇拜の思



小野小町 延宝八年 黒田光之筆納

また、延宝八年(二六八〇)に福岡

徳もしくは永徳の息子 狩野光信と見解がわかる。狩野派黎明期の数少ない作例の一つとされる重要作品で、前・後期合せて八面公開している。

平安時代に藤原公任が選んだ三十六歌仙は、その後、歌仙崇拜の思

注目すべきは、天正年間(一五七三〜九一)に宗像大宮司氏貞が辺津宮へ奉納したと伝える最も古い扁額。書は聖護院道澄。絵は狩野永徳もしくは永徳の息子 狩野光信と見解がわかる。狩野派黎明期の数少ない作例の一つとされる重要作品で、前・後期合せて八面公開している。

想が盛んとなると、鎌倉時代には三十六歌仙の絵に秀歌を添えて絵巻などに仕立てられた。扁額の形式に仕立てて神社に奉納する風習は室町時代中期から始まり江戸時代に盛行する。神社に奉納された扁額は歌合せの形式で左右十八人ずつに分けて拜殿に掲げられた。特別公開では五組の扁額を前期(八月十日まで)、後期(八月十一日以降)にわけて公開中。



扁額に見入る拝観者

藩主黒田光之が辺津宮内陣へ奉納した扁額は、書は藤原基時、絵は狩野安信で、前・後期で二十九面公開。光之が貞享三年(一六八六)に辺津宮拜殿へ奉納した扁額は前・後期合せて四面公開。光之の重臣で書・絵・茶道に精通した文化人 立花実山が書・絵ともに描き元禄十三年(二七〇〇)に大島中津宮へ奉納した扁額、安永八年(一七七九)に両浦氏子中が奉納した扁額はともに前・後期合せて八面公開される。

閉幕が目前に迫り、神宝館には貴重な扁額を一目観ようと人々が集まり賑わっている。大和絵と和歌が融合する優雅な世界、皆様どうぞお見逃しなく!



宗像大社御神酒醸造元 勝屋酒造合名会社

社長 山本 博次
福岡県宗像市赤間4丁目1-10
TEL(0940)32-3010 <http://www.katsuyashuzo.com>

地球に優しいひとときを... Genkai Group

玄海グループ
〒811-3502 福岡県宗像市江口978-52
本社 TEL 0940-62-0653 FAX 0940-62-1565
URL <http://www.genkai-g.co.jp>

- (有)玄海環境サービス (宗像市・許可業)
 - 一般廃棄物収集・運搬
 - 浄化槽の維持管理
- 玄海クリーン(有) (宗像市・委託許可業)
 - 一般・産業廃棄物収集・運搬・処理

夏越の大祓式

積雲たなびく夏空の下、七月三十一日午後五時、刺すような西日が照りつける中、夏越しの大祓式、夏越祭が神門にて古儀に則り厳粛に斎行された。

大祓式は奈良時代の昔より神祇官の命により、国家的神事として行われてきた儀式であり、一年を二期に分けた最後の日、旧暦六月



と十二月の晦日に罪・穢れを祓う神事で宮中・神宮を始め全国の神社で行われている。
当大社では新暦の七月晦日の三十一日に夏越祭と併せ斎行している。

当日は早朝より田島地区総代・協力会の御奉仕により、近くの堤で茅刈り作業が行われ、直径五メートルにも及ぶ濃緑の見事な茅輪が奉製され、神門に備え付けられた。

古来、この茅輪を三度潜れば邪気・罪穢れ・災難を祓い、心を和め、暑気にも負けず、健やかな生活を送ることができるといわれている。

午後五時、全国から寄せられた「紅白の人形」が納められた唐櫃が、茅輪の前に供えられ、高向宮司以下神職、巫女、氏子崇敬者等約三百名が参列し大祓式が開始された。葦津禰宜が「大祓詞」を宣読した後、参列者各々「切麻」で己を祓い、「祓物」に息を吹きかけて切り裂き、半年間の



ご奉仕いただいた地元総代、協力会の皆様

罪・穢れを祓った。

続いて、高向宮司以下参列者全員で茅輪を左に廻り

水無月の夏越の祓へする人は千歳の命延ぶといふなり

次に茅輪を右に廻り

思ふこと皆つきねとて麻の葉を切りに切りても祓ひつるかな

さらに茅輪を左に廻り

宮川の清き流れに縋せば祈れることの叶はぬはなし

と古歌を奉唱しながら三度茅輪を潜り、本殿へと参進した。



宗像建設協力会

事務局 〒811-3217 福津市中央5丁目1-20
TEL (0940)42-0323

株式会社 井上建設

〒811-3217
福津市中央5丁目1-20
TEL 0940-42-0323
FAX 0940-42-0327
井上 重信

株式会社 桜井建設

〒811-3217
福津市中央5丁目1-20
TEL 0940-42-0323
FAX 0940-42-0327
桜井 良行

株式会社 篠崎建設

〒811-3217
福津市中央5丁目1-20
TEL 0940-42-0323
FAX 0940-42-0327
篠崎 清

株式会社 田畑建設

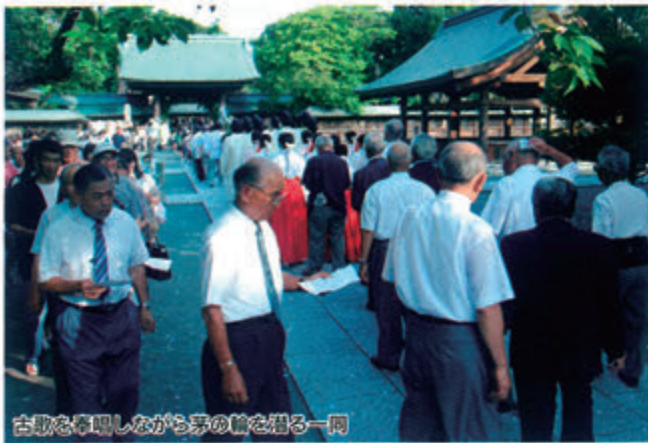
〒811-3217
福津市西福岡3-1-1
TEL 0940-42-0323
FAX 0940-42-0327
田畑 博規

株式会社 日新建設

〒811-3217
宗像市田熊4丁目1-3-6
TEL 0940-36-2231
FAX 0940-36-4798
長尾 榮次

松本組建設 株式会社

〒811-3217
宗像市神湊1-0-1
TEL 0940-62-0016
FAX 0940-62-0016
松本 真誠



古歌を奉唱しながら茅の輪を捲る一団

引き続き本殿にて夏越祭が斎行され、国家皇室の安泰と繁栄、氏子崇敬者をはじめ、全国から人形を寄せられた方々の無病息災・家内安全を祈念する祝詞が奏上され、巫女による神楽「豊栄舞」を奉奏し、滞りなく終了した。



大祓戸祭上

本年は週末という事もあり、近年にない多くの方々の参列を迎えた。暑い中御参列頂いた方に心より御礼を申し上げます。

博多総鎮守・櫛田神社総代ら 沖津宮を参拝

櫛田神社 権禰宜 甲斐慎一郎

厳しい暑さの八月二日、当社の阿部憲之介宮司以下、当社宮總代、博多祇園山笠振興会本部、博多松囃子振興会本部、当社崇敬者団体各役員総勢四十名が、宗像大社沖津宮の鎮座する沖ノ島へ渡島参拝させていただいた。

当日は天候に恵まれ海上は風、午後一時福岡港より瀬渡船「恵比須丸」で出発、沖ノ島上陸後は一同海中で禊を行って身を清め沖津宮を目指した。

大量のアブが発生していたが、島の中腹に鎮座する沖津宮に到着し一同正式参拝、祭典後同行いただいた高向宮司より沖ノ島の歴史や祭祀遺跡の説明を受けた。

今回参加された方の中には渡島経験のある方も数名いらっしゃったが、ほとんどの方が初めて、貴重な体験の中で改めて沖ノ島の歴史的意義や神道の原点を学ぶことができた。島から戻った一行は神湊の老舗旅館「魚屋」で、宗像大社の



高向正秀宮司出席のもと直会が催され和やかに親睦を深めた。今回の参拝に際しまして、諸々ご配慮いただきました宗像大社の皆様には紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



宗像タクシー協会

〒811-4185 宗像市赤瀬駅前2丁目3番14号
連絡先 TEL (0940) 35-1111

みなとタクシー株式会社(会長)

社 長 古野 浩

宗像市赤瀬駅前二丁目三番一四号
TEL 〇九四〇三三二一三三二

新星交通有限公司

社 長 森 正彦

宗像市東郷一丁目五番二号
東郷営業所
TEL 〇九四〇三六二一三八

宗像西鉄タクシー株式会社

社 長 久家日佐夫

宗像市自由ヶ丘二七三
TEL 〇九四〇三二四一三一

宗像グリーンタクシー有限公司

社 長 藤瀬 政敏

宗像市河東一〇六一
TEL 〇九四〇三三三三〇三

宗像平和タクシー株式会社

社 長 塩川 浩一

福津市中央三丁目八・一一
TEL 〇九四〇四二〇〇四〇

福栄タクシー有限公司

社 長 保井 享

福津市西福岡二丁目一〇・三
TEL 〇九四〇四二〇三三三

宗像交通有限公司

社 長 塩川 浩一

福津市津屋崎七一九五
TEL 〇九四〇五二〇〇一五

沖ノ島に くらす 生きものたち Vol.2

沖ノ島の希少植物

福岡県保健環境研究所 専門研究員 須田隆一



ピロウ



オオタニワタリ

平成十三年三月に発行された「福岡県の希少野生生物」福岡県レッドデータブック(二〇〇一)に記載されている希少植物のうち、約二十種が沖ノ島で記録されています。これらの中には暖地海岸性植物や亜熱帯性植物が含まれています。平成二十二年六月二五日に行われた今回の調査において、沖ノ島が分布北限となつてい希少植物三種を確認しました。一つ目は、亜熱帯の海岸近くに

生育するヤシの仲間のピロウです。沖ノ島では最北端に位置するワレノ鼻の断崖上に生育しています。今回、現地踏査により、樹高約七mの高木二本、樹高約四mの低木二本を確認しました。高木二本は花をつけていましたが、島内での生育はこの四個体のみと考えられ、絶滅が心配されます。二つ目は、シダの仲間のオオタニワタリで、沖津宮から黄金谷にかけての岩上やタブノキの樹幹な

どに、多数の葉を放射状に広げて着生しています。黄金谷上部の岩上には、比較的大きな個体が点在しています。三つ目は、常緑低木のイソヤマアオキです。本種は、一九三〇年代を最後に確認されていませんでしたが、今回の調査で約七十五年ぶりに再発見しました。二ノ岳と三ノ岳の鞍部に二十個体程度が生育しています。月桂樹に少し似た葉が特徴的です。

これら三種の植物は、いずれも福岡県内では沖ノ島が唯一の生育地です。島内での分布は局所的で、個体数も限られて見守っています。今後、大切に守っていか



創業嘉永三年(1850年) 伝統に支えられた宗像神漬の味。

ナカマル醤油醸造元

宗像市神湊1118
TEL 0940-62-0003 FAX 0940-62-0353

昭和15年頃のナカマル醤油本店

暮らしの夢を大きくひらく **城山家具**

宗像市三郎丸(旧国道3号線・三郎丸バス停前)
TEL 0940-33-5538(代表) FAX 0940-33-6351
http://www.shiroyamakagu.jp

SHIROYAMA

の専門 **上田清商店**

〒811-3304
福岡県福津市津屋崎4丁目16-6
Tel 0940-52-0148 Fax 0940-52-5488

宗像農業協同組合

本店 代表理事組合長 寺島 俊基
宗像市東郷4丁目3番1号 TEL 0940-36-4110

田島支店 支店長 占部 俊成
宗像市深田75-1 TEL 0940-62-1515

宗像大社御神酒 伊豆本店

代表者 伊豆善也
福岡県宗像市武丸1060
TEL 0940-32-3001 FAX 0940-33-0512

印刷のことならお気軽にご一報ください

名刺・封筒・ハガキ 中川印刷 印刷全般
チラシ・製本 etc

福岡県福津市津屋崎4丁目11-27 TEL 0940-52-0044 FAX 52-0414



イソヤマアオキ



ヒゼシマユミ



クワノハエノキと枝に着生するフウラン



キノクニ-age

沖ノ島には、分布北限ではないものの、分布北限域の希少植物も生育しています。常緑小高木のヒゼンマユミは、長崎県対馬中部が分布北限で、沖ノ島がそれに次ぐ生育地です。同様に、落葉高木のクワノハエノキも、山口県見島が分布北限で、沖ノ島がそれに次ぐ生育地です。ミヤコジマツツラフジ、シマモクセイ、キノクニスゲなども分布北限域の植物です。これら五種は、福岡県内での分布は限定的ですが、島内では比較的普通に見られる植物です。

仲間のフウランは、沖津宮周辺にクワノハエノキの樹幹や枝に着生しており、一ノ岳山頂の断崖にも生育しています。福岡県内では沖ノ島に最も多くの個体が生育しています。

以前の調査においても現状不明であった希少植物、たとえば、沖ノ島で採集された標本に基づき新種として記載されたオオユリワサビ、志岐・対馬から朝鮮半島南部のみ分布するハイビヤクシンなどは、今回も確認できませんでした。また、以前の調査で確認していた分布南限のコバノイラクサも、今回は確認できず、さらに詳細な調査が必要と思われる。

今回の調査では、福岡県レッドデータブックに記載されている十



調査団

三種の希少植物を確認しました。その中にはイソヤマアオキの再発見などの新たな知見も含まれ、とても有意義な調査となりました。

宗像・玄海の観光物産品卸

花田食品株式会社

代表取締役 花田 洋

宗像市田熊6丁目3番27号 TEL 0940-36-5533

出光興産株式会社販売店
東京海上日動火災保険(株)代理店

吉井商事株式会社

代表取締役 吉井 英海

本社 宗像市深田67-7
TEL 0940-62-0004 FAX 0940-62-3343

創業大正七年 鮮魚・海産物

やまし

福岡県宗像市神湊1141
TEL 0940-62-0006(代)
FAX 0940-62-2143

ファミリーストア岡山

岡山 秀雄

福岡県宗像市神湊1000
TEL 0940-62-0134
FAX 0940-62-2914

遠藤クリーニング

代表 柴村 勲

〒811-3501 宗像市神湊635
Tel 0940-62-0217

食料品・青果・たばこ

田中商店

福岡県宗像市神湊1052
TEL・FAX 0940-62-0122

第55回 中津宮七夕揮毫会

子供達約一七〇名参加の下、大島で開催



揮毫に臨む児童たち

去る七月二十七日、筑前大島の中津宮で恒例の七夕揮毫会が開催され、幼稚園児から中学生まで約一七〇名の子供達が島での一日を満喫した。

この揮毫会は書道教育の振興を目的として、昭和三十一年に七夕揮毫会実行委員会を発足、第一回揮毫会が開催され、今年で五十五回目を迎えた。数ある宗像大社の神賑行事の中でも最も歴史ある大会である。

当日は猛暑の中、開催地大島は勿論、県内各地から多くの子供達がフェリーにて来島し、揮毫会場である大島小・中学校の校舎へ移動、各教室の席上にて日々の練習の成果を発揮しようとした。



表彰式

正午過ぎには全作品が提出され、先ず御神前に奉納、参加者の学業成就と健康を祈念する奉告祭を斎行、祭典後直ちに福岡書道会の先生方によって厳正な審査が行なわれた。

その間、緊張から開放された子供達は神社前の砂浜にて、大島の方々のご協力で行われている恒例の「サザエ拾い」や海水浴を楽しみ、島でしか味わうことのない大島の大自然を満喫した。



真剣に審査される先生方

午後三時には審査も終わり、早速境内回廊に入選作品を展示した。続

玄海ホテル旅館組合

玄海国定公園の中心
一風光明媚、生魚料理、宗像大社となり—



玄海ロイヤルホテル ☎(0940)6214111	国民宿舎ひびき ☎(0940)6211288	みなと荘 ☎(0940)6212255	松風荘 ☎(0940)6210120	はなわらび ☎(0940)6210107	高嘉旅館 ☎(0940)6211221	玄海旅館 ☎(0940)6210001	魚屋別館 ☎(0940)6213355	魚屋本店 ☎(0940)6212122
-----------------------------	---------------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------



恒例の「ササエ祭り」

いて表彰式に先立ち、昭和三十一年にこの大会を立ち上げられ、発足当時から今年の揮毫会まで実行委員長としてご尽力頂いた、河野幸人氏が揮毫会一週間前の七月二十日にご逝去された。河野実行委員長のご功績を偲び、参加者全員にて黙祷を行い哀悼の意を捧げた。表彰式は渡邊彌宜が挨拶を行い、松原宏仙審査委員長の講評、次に渡邊彌宜より入賞者に賞状とトロフィーが授与された。

午後四時には表彰式を終え、本年の揮毫会も無事終了。一同大島の思い出を胸に家路についた。

揮毫会にあたり大島島民、大島小・中学校の先生方をはじめ多くの皆様のご協力により、盛大に開催できました事、紙面の上より厚く御礼申し上げます。

「第五十五回 中津宮七夕揮毫会」
各受賞者は右記の通り

福岡県知事賞	松藤 瑞稀	小学6年	中川小学校
〃	萱野 優生	中学3年	城山中学校
福岡県議長賞	城戸 美穂	小学4年	上西郷小学校
〃	赤星 広子	中学1年	城山中学校
福岡県教育委員会賞	花田 翔平	小学5年	津屋崎小学校
〃	田坂日向子	中学2年	当仁中学校
宗像大社宮司賞	本松 尚子	小学3年	津屋崎小学校
〃	川崎 千尋	中学3年	警固中学校
宗像市長賞	中島 実菜	小学2年	笹丘小学校
〃	高武 里沙	中学2年	津屋崎中学校
福津市長賞	山浦 芹菜	小学1年	片江小学校
〃	福山真奈美	中学1年	城山中学校

宗像市議会議長賞	高田みのり	小学6年	津屋崎小学校
〃	門田 郁美	中学3年	自由ヶ丘中学校
福津市議会議長賞	川端 隆嗣	小学3年	津屋崎小学校
〃	川口 奈月	中学2年	警固中学校
宗像市教育委員会賞	鶴 侑希	小学5年	自由ヶ丘小学校
〃	釜瀬 智野	中学1年	河東中学校
福津市教育委員会賞	行武 魅咲	小学4年	津屋崎小学校
〃	大塚 愛理	中学3年	明光学園
宗像観光協会賞	江藤菜津美	小学2年	舞の里小学校
〃	阿部 悠平	中学2年	河東中学校
福津市観光協会賞	中川 詩友	年長	みかさ幼稚園
〃	丸山あき奈	中学1年	広川中学校

柗石賞9名、福岡書道会賞9名、尚文堂賞9名、ヒロカネ賞15名

宗像の漁家と農家の手作りの味
道の駅むなかたレストラン



おふくろ食堂
はまゆう

TEL (0940) 62-2821

店休日

毎月第4月曜・盆・年末年始

営業時間

午前11時～午後4時

オーダーストップ 午後3時半

折尾名物 かしわめし弁当

株式会社
東筑軒

北九州市八幡西区堀川町4-1

TEL (093) 601-2345

(受付時間 年中無休 8:00～17:00)

FAX (093) 601-2570

ホームページ

<http://www.tochikuken.co.jp/>

(続)

決の寄物

249



いしい ただし

ガ島での戦いの敗因は、制空・制海権を失い補給路を絶たれたことである。何といっても食糧の不足、装備の不良、緑の地獄といわれる熱帯林に閉じ込められ、栄養失調、アメーバ赤痢、マラリア等が襲う。

そして軍上層部の判断の甘さである。米軍は陸上戦を交えるために初期の段階から大量の海兵隊を投入し、重装備でのぞんだ。しかし日本軍は米軍を偵察部隊程度とみており、

緒戦の勝利に米軍の力を過小評価していたきらいがある。ガ島での一本木隊、川口支隊も敗北、更に大量の兵を投入しても失敗に終わり、飛行場奪取はならなかった。そして密林の中に釘付けとなり、攻撃は夜間行われるがごとく感知され銃砲火を浴びる。三八歩兵銃を一発うつと米軍から百倍の銃弾がとんできたという(証言記録)。

補給船も途中で撃沈され、食糧が届かない。気力も体力も日ごとに衰え、栄養失調と熱病等に倒れていった。絶望のあまり自決する兵も多かったという。

上陸時には一週間分の食糧が支給されたが、それを食べつくすと原住民から芋や椰子などを調達、それもなくなると、草の葉、木の根、食べられそうな

のは、何でも焼いたり煮て食べている。ヘビやトカゲも捕らえて食べた。堺氏の自伝にトカゲを料理している絵がある。蟻の巣を見つけて食べた

り、死体に群がる蠅まで食べた兵もいた(戦争証言)。堺氏も闇夜海岸へ出て漂着物さがしもしている。海岸で黒こげの岩塩を拾い、部下と分けて命をつないだという。また流れ着いた米軍の食料箱を見つけ中に鶏卵の粉末の缶詰を見つけ食べたことも記している。

もはや軍隊は崩壊し、組織戦力を失った兵は弱肉強食の社会と化し、体力のある者は野犬の如く歩き回り、戦友の食糧を奪い、更に射殺するという者もあらわれる(堺氏の自伝)。密林の中は死屍累累、腐敗臭、蠅や蛆が湧きこれが「地獄だ」と多くの将兵は感じている(証言記録)。

NHKの証言記録「兵士たちの戦争ガダルカナル島」は、名古屋第二二八歩兵連隊の証言を中心に編集されており、

八月十一日午前二時に再放送されたのを見た。奇跡的に生還した兵たちは毎年五月に慰霊祭を行っているが、その数も少人数である。

この連隊がガ島に上陸し最初に目にしたものは、ボロボロの服をまといやせ細った者達で、最初日本兵とわからず原住民かと思っただという。大変なところに来たと上陸した兵は感じた。その彼等も生きていくことだけで精一杯、戦闘より食糧確保であった歩いて見た太平洋戦争の島々(NHK証言記録、堺氏の自伝)。「愚将により餓島と化し、万骨枯れた」(日本の戦争2 毎日新聞社)である。



歩いて見た太平洋戦争の島々
安島大佐 著 吉田 編集



ブリキのおモチャ

ガダルカナル島 沈没戦艦影



ガダルカナル島 沈没戦艦影

福かき(熊手) 福み、縁起物全般 初詣、十日戎祭用品 製造卸



福かき(熊手) 福み、縁起物全般 初詣、十日戎祭用品 製造卸

えびすしまだ(株)

〒669-1211 宝塚市大原野字北宮本11番地 TEL 0797-91-0044 FAX 0797-91-1330

大野展男先生、退任 ～新しい講師に大西晶子先生～

前任の中村吾朗氏の後を受け、平成7年7月より第四代宗像大社
献詠短歌会講師として、15年の永きに亘り講師をお務めいただいた
大野展男先生がご高齢のため、この度退任されました。

数年前より病気を患われ、神社では度々慰留に努めてまいりまし
たが、85歳のご高齢もあることからこの度ご辞退を了承しました。

今月号からは大野先生(コスモス短歌会同人)と同じくコスモス
短歌会の会員で、宗像市自由ヶ丘在住の大西晶子先生に批評をお願
いしております。

皆様には今後ともご投稿いただきますようお願い申し上げます。

大野先生には永年のご奉仕を衷心より感謝申し上げますとともに、
益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



大西晶子先生ご略歴

昭和24年10月23日生(60歳)。

小倉出身。

東京女子大文理学部卒。

昭和59年コスモス入会。

棧橋同人。

宗像市自由ヶ丘在住。

宗像大社 秋季大祭(田島放生会)のご案内

当大社最大の神事、秋季大祭を下記日程で斎行致します。
皆様の御参拝を心よりお待ちしております。

宗像大社秋季大祭(田島放生会) 日程

10月1日(金)	海上神幸 (みあれ祭)	9:30	大島港出港
		10:30	神湊港入港
	一日祭 (入御祭)	11:40	於=辺津宮 本殿 主基地方風俗舞 奉奏
10月2日(土)	流鎖馬神事	8:00	於=神門前 参道
	二日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 箭舞 奉奏
10月3日(日)	三日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 浦安舞 奉奏
	高宮秋季大祭 第二宮・第三宮 秋季大祭 宗像護国神社 秋季大祭		三日祭終了後引き続き、 各社に分かれ同時斎行 (11:40頃を予定)
	献茶祭	14:00	於=辺津宮 本殿
	高宮神奈備祭	18:00	於=辺津宮 高宮祭場 悠久舞 奉奏



お問い合わせ先 宗像大社 社務所 (0940)62-1311(代)

第五八九回 宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



評 神宮の傾けてさす草いろの和傘は鳴りぬ若樟のみち
描写が丁寧で作者の目の良さを感じる。傘が鳴った理由が分かると良いのだが。

評 北九州市 八幡西区 豊田 光子
水張田に電柱の落す影ひとつ今日も降らずに夕づきにけり
静かな情景。四句をこの日も降らずとしてはどうでしょう。

評 うきは市 浮羽町 向 則正
久びきに東京に来て新宿の寄席で半日落語を楽しむ
珠玉の半日。二句を「来た東京は」とし、結句の助詞「を」を除くと調べが良い。

評 宗像市 土穴 山本 静子
山笠はおどろな酒天童子なれ川端せんざいまことに旨し
同じ比重で二つのことが詠まれている。どちらを主にするかを考えて詠みましょう。

評 福津市 若木台 野間 精一
道傍の權の花に網を張り短き晴れ間に虫を待つ蜘蛛
自然をよく観ている作者。結句の「虫を」は「獲物」でもいいか。

評 福津市 中央 池浦千鶴子
五月雨に青きあじさいうなだれて母に叱らる幼のごとし
花を見る作者の目が優しい。四句は字余りでも叱らるるに。

評 宗像市 田久 巻 桔梗
地島の「椿ロード」を踏みゆけば笛の名手のごとき鶯
椿ロードはイメージが捉えにくいので「椿林」ではいかが。力ある作者にはもう少し意外性のある比喩が欲しい。

評 福岡市 南区 井田有久衣
亡き夫の戦友名簿に戦はず餓死せる友に涙をさそう
戦場ではなく餓えて亡くなった兵士の無念に涙する作者。二句の助詞を「の」に、結句を「涙さそはる」としたい。

評 福津市 星ヶ丘 佐々木和彦
二度となき人生などといくたびも言いつつすでに還暦を過ぎ
できた歌で、普遍性のあるテーマだが、作者ならではの具体が欲しい。

評 北九州市 八幡西区 遠藤 幸子
炎天の木立はいずこも蝉しぐれ短き命の声身にしみる
蝉は地上に出て一週間ほどで死ぬ。そう思えばうるさいほどの蝉声にも無常を感じる作者。初句は「炎天下」としたい。

評 宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子
健康診断異常なければ家中をハミングしつつ掃除するなり
作者の安堵感がハミングによく表れている。結句の「するなり」はやや古風。四・五句の倒置も試してみてもいい。

評 福岡市 日の里 大和美由紀
さらさらと流るる川の飛石を子供のやうに跳んで渡りぬ
童心に帰る作者。素直な詠みぶりに好感がもてる。

評 宗像市 日の里 石松 弘次
ゆらゆらとしなひし竹のことし竹つゆを払ひていきさよきかな
三句までの調べが面白い。二句は「しなへる竹の」とすると現在見ていることになり臨場感が出る。

評 北九州市 戸畑区 田中ハツセ
珍しく児等のさわめく声聞こゆ夏休みに入り祭りも近し
子供たちの声に作者の心もはずむ。上句、下句を関連づけるために結句を「近く」としては。

評 北九州市 八幡西区 吉田ウト子
明鳥の鳴くをいぶせむわれながら麻酔ゆ醒めて聞くは可惜し
三句までを「常なればいぶせし」と聴く明けの鳥とすれば分かりやすい。手術が終わった喜びに世界が美しく見える作者。

評 大暑けふ雑巾かければシャツの背の汗にぬるるがいつそ涼しき
本を読む いな水仕事日にやけた
夏の両手はさみづを恋ひて

第五六四回 俳句作品集

宗像市 吉武 白土 凌一
暑き日に海水浴や楽しけれ
宗像市 平井 占部 詩子
大灘を沸騰させて夏落暉

宗像市 日の里 花田いつ枝
句ひ立つ我が市の花や鹿の子百合

9月祭事暦

毎月1-15日	月次祭
午前10時~	高宮祭 第二宮祭 第三宮祭 宗像護国神社祭(1日)
午前11時~	宗像神社祭 1日は併せて風船祭り 浦安舞奉奏(1日) 豊栄舞奉奏(15日)
23日	皇霊殿遷葬式 午前10時~
31日	秋季大祭高宮祭
総社地主祭	午後5時~
高宮祭	午後6時~

編集後記

今夏は重心そつちのけでカフトムシを飼育しました。宗像大社境内産のオストメス二匹づつ四匹ですが、先日卵を生みました。その数約三十個。今後が楽しみです。今年是全国的に猛暑となり、宗像では益明けの八月二十一日に観測史上最高気温の37.2℃を記録しました。今後も残暑が続きますが、どうぞご自愛下さい。また、来月一・二日の秋季大祭(田島放生会)は、平成十六年以来五年振りに金・土・日曜日週末兼行となります。天候に恵まれ、多くの皆様にご参拝いただけたらと存じます。(塚)

宗像大社社務所 発行所 宗 像

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 兼津幹之
編集人 大塚宗延
制作 セネラルアサヒ
印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円